

## 西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書についての部会報告（案）

### はじめに

西三河都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）岡崎西尾地域広域ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に環境影響評価を実施し、その結果を踏まえ環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

### 1 全般的事項

- (1) 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。
- (2) 新たなごみ処理施設の処理能力を 292 トン／日としているが、その算定根拠をわかりやすく示すこと。
- (3) 新たなごみ処理施設の処理方式については、今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容をわかりやすく示すこと。  
なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。
- (4) 調査地点及び予測地点について、その設定理由をわかりやすく示すこと。
- (5) 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

### 2 悪臭

悪臭の現地調査については、梅雨期及び夏季に 1 日 1 回行うとしているが、対象事業実施区域の南側に山地が存在することを踏まえ、冬季の弱風時にも悪臭の現地調査を実施すること。

### 3 動物、植物及び生態系

- (1) 動物の生息状況及び植物の生育状況等に係る文献調査については、方法書に記載されている文献等も含め最新の文献等により適切に実施すること。
- (2) 対象事業実施区域周辺において、オオタカが営巣している可能性があることから、オオタカの繁殖に影響を与える可能性が高い時期に動植物の現地調査を行う場合には、できる限り影響が小さい手法により調査を行うこと。
- (3) 対象事業実施区域周辺において、フクロウが営巣している可能性があることから、夜間調査を実施すること。
- (4) 対象事業実施区域周辺において、ヒメタイコウチが生息している可能性があることから、調査地点等を適切に設定の上、調査を実施すること。
- (5) 方法書に記載されている植生図は、対象事業実施区域及びその周辺における現在の土地利用の状況を反映していない可能性があることから、現在の土地利用の状況を把握し植生図を適宜修正した上で、適切に予測及び評価を実施すること。

### 4 その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

## 検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
令和 5年 1月23日	審 査 会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 住民意見の概要等の検討 部会の設置及び付託
令和 5年 2月20日	部 会	方法書の内容の検討 関係市町長意見の検討 部会報告（案）の検討

愛知県環境影響評価審査会岡崎西尾ごみ処理施設部会構成員

生田 京子	名城大学理工学部教授
伊藤 由起	名古屋市立大学大学院医学研究科准教授
岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
片山 直美	名古屋女子大学健康科学部教授
佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授
吉永 美香	名城大学理工学部教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)